

電子版で朝刊読めます

スマホで！タブレットで！パソコンで！紙面を丸ごと読むことができるサービス、「どうしん電子版」！
購読料プラス 0円

「どうしん電子版」は、道新を月決め料金で定期購読している方なら、無料で登録できる電子版会員限定のサービスです。



お問い合わせは
0120-889-104

先日行われた屈足連合町内会パークゴルフ大会、天候にも恵まれ浜田町長や新得連合町内会など57人の参加があり盛況のうちには終了しました。
この大会に毎年、顧問の竹浦さんから80歳以上の参加者に特別賞を寄贈していただいておりますが、例年6〜7人でしたが今年は一昔前は80代がパークゴルフをするイメージはなかったのですが、特に屈足のみなさんは益々元気ですね。
ちなみに男子の優勝者は80代の方で、「恐るべし80代」です。
さすがに90代の参加者はいませんが、何年か、後の特別賞は90代になるかもしれないですね。



「人生100年時代」

新得町役場屈足支所長

中村吉克



人生100年時代といわれていますが、日本の平均寿命は2017年で男性が81・09歳、女性が87・26歳です。
これは2017年に生まれた方の平均余命ですから、80歳の方の平均余命は男性で8・95歳、女性が11・84歳で男女とも90歳を超えることになりません。
人生100年時代といわれる所以でしょうか。
先日、90半ばの元気な伯父が友人から「あなたは100歳まで生きるよ」と言われて「俺はあと5年しか生きられないのか」と笑ってましたが、100歳以上が当たり前の時代もそう速く来ないかもしれません。
元気で長生きの方法は、人それぞれ違うと思いますが、「健康で100歳以上の町 屈足」目指して、日々楽しく過ごしたいですね。



当販売所では様々なジャンルの書籍、雑誌、文庫、新書、週刊誌の定期購読など、ほとんど全ての出版物を確実にお取り寄せします。
今読みたい話題作！欲しい本をお取り寄せ！

せ！
気軽にお問い合わせください。
通販は送料がかかりますが当販売所は無料です。
※当店取り置きとなります。宅配サービスは致しません。

「ごちそう屈足駐在所」



佐藤和典 巡査部長

「特殊詐欺に注意」

最近、新たな手口として携帯電話、スマートフォンに対するメールを手段とした詐欺が見受けられます。
代表的な事例は、宅急便の不在通知連絡を装い、受け取りの為メール内の悪童あるサイトに遷移し、個人情報や盗むといった状況です。各宅急便業者がいきなりメールを送ってくることはありません。
不在連絡票を郵便ポストに入れて行きます

東京オリンピックピック観戦チケットの「偽選メール」を送り、そのメール内から偽サイトへ誘導、現金を振り込ませるといった手口も見られます。
身に覚えのないメール、電話、手紙等は一切相手にせず（これが大事です）、困ったなど思ったら警察までご相談下さい。



道新六月号ポケットブックの御案内です。



▼ポケットブック6月号「どうしん電子版活用ガイド」
インターネットを通して使える「どうしん電子版」を提供しています。スマートフォン（スマホ）やパソコンなどから会員登録するだけでOK。月決め購読をしている個人なら誰でも利用可能で、追加料金はかかりません。
新聞紙面や速報など、外出先でも手軽に見ることが出来ます。
配布済み

次号予告
「節約生活」
お楽しみに。

連続小説

加奈子

赤池武臣

翌日、幾度も男は詫（わ）びを入れたが、加奈子は頑として受け入れなかった。
ここで許してしまう事は、好一に対して、しめしがつかないと思つたし、許せば純粋な心で接してくれている好一にそっぽむかれる事も、正直いって怖かった。
（入居者は補充が効くけど、人の心は一度失うと、もう戻っては来ないからね） 加奈子は、遠い昔の自分をみつめながらしんみりと言ひ聞かせるのだった。

「さてと、今晚は何を作ろうかね」

自分の感傷を振り切るように、両手で自分の両膝を叩き、大声で叫ぶと冷え切った洪茶をひと息に咽喉に流しこみ部屋を出て行った。
バスで街まで出た加奈子は、思い出したように下宿に電話をかけた。

お手伝いのミヨに夕食の買い物頼むと、帰りの遅くなることをつけ加えた。
街に出るのは少々である。
急に誰も知る人のいない雑踏にもまれてみたくなった。駅前から人群に混じり下つていく。
八丁目の人群は直進と右折の二つに分かれた。加奈子は何となく右折の人混みの後に付いて歩いた。

人々は進むにつれそれぞれに散って行き、大通りに出た時は一人になった。
加奈子は急に二軒ある下宿屋を尋ねてみたくなった。出来れば集金もしてこようと思つた。毎月、月末になると帳簿と現金をマンションまで持って来てくれるのが常だったがこの半年、一度も行ってない。
東四条にある下宿は部屋の半分が真っ暗だった。

師走と言っても未だ中日を過ぎたばかりだ。帰省するには早すぎると加奈子は思つた。

つづく